

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット
 情報公開の方法 以下のURLで公開する
 URL <http://www.med.osaka-cu.ac.jp/liver/research/index.shtml>

承認番号	2019-084
研究課題名	B型慢性肝疾患における核酸アナログによる発癌抑制効果に関する検討
研究の意義・目的	B型肝炎ウイルス感染は、肝硬変および肝がんの主因となっています。このためB型肝炎の患者さんに抗ウイルス療法を行うことで、肝がんの発生が抑制されることが期待されます。特にエンテカビル、テノホビルは薬剤耐性が起こりにくく、治療ガイドラインではB型肝炎の第一選択抗ウイルス薬として推奨されています。ところが治療薬剤の種別による肝がんの発生率に差があるかどうかは不明です。いくつかの研究では、両剤の間で肝がんリスクに差はなかったと報告されていますが、十分と言えるほどの患者数および発がん症例数ではありません。本研究では、肝がんの発生率を治療薬剤別に比較し、よりよい治療法を探し出したいと考えています。
研究を行う期間	承認後～2025年12月31日まで予定
研究対象者の範囲	2003年1月1日～2019年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院の肝胆膵内科で、B型慢性肝疾患に対してエンテカビル、テノホビル、ラミブジン治療を行った入院または通院患者さんが対象です。
お願いする内容	<input type="checkbox"/> 共同研究機関に頂いた試料・情報を提供します。 <input type="checkbox"/> 他の施設が共同研究の代表施設として研究いたします。 診療記録、血液検査結果、画像検査結果を提供します。
頂いた試料・情報の提供方法	特定の個人を識別できない形で提供します。
頂いた試料・情報の管理について責任者	長崎医療センター臨床研究センター 臨床疫学研究室長 山崎一美
この研究を行っている施設（共同研究機関）	愛知医科大学 肝胆膵内科 教授 伊藤清顕 大阪市立大学 肝胆膵病態内科 准教授 榎本 大 大阪大学 総合地域医療学 助教 山田涼子 大阪労災病院 副院長 平松直樹 岡山大学 消化器・肝臓内科学 助教 池田房雄 香川県立中央病院 院長補佐 高口浩一 香川大学 消化器・神経内科学 教授 正木 勉 香川大学 消化器・神経内科学 助教 藤田浩二 金沢大学 保健学系 教授 本多政夫 川崎医科大学 肝胆膵内科学 講師 仁科惣治 くまもと森都総合病院 肝臓消化器内科 医長 宮瀬志保 国立国際医療研究センター病院 ゲノム医科学プロジェクト長 溝上雅史 信州大学医学部 内科学第二教室 教授 田中榮司 聖マリアンナ医科大学 消化器肝臓内科 病院教授 奥瀬千晃 仙台厚生病院 肝臓内科 主任部長 近藤泰輝 手稲溪仁会病院 消化器病センター 主任医長 姜 貞憲 東海大学 消化器内科学 教授 加川建弘 東京都立駒込病院 肝臓内科 部長 木村公則 名古屋市立大学 大学院医学研究科 教授 田中靖人 日本大学医学部付属板橋病院 准教授 神田達郎 兵庫医科大学 肝胆膵内科 教授 西口修平 広島大学 自然科学研究支援開発センター 助教 柘植雅貴 福岡大学 消化器内科学 講師 森原大輔 国際医療福祉大学 消化器内科 教授 村田一素 山梨大学 第一内科 講師 前川伸哉 横浜市立大学付属病院 消化器内科 准教授 齊藤 聡
代表施設のURL	長崎医療センター臨床研究センター https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/profession/clinical_research_center.html
研究の成果を公表する方法	研究成果は、研究対象者を特定できないようにした上で、学会や学術雑誌等で公表します。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	実施責任者：榎本大 所属・職名：大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学・准教授 住所：〒545-8586大阪市阿倍野区旭町1-5-7 電話番号：06-6645-2316